# 防火対象物点検票

防	火	管	理	者										
立		会		者										
点	検	年	月	日		年 月		日	~	年		月		П
防少	く管	理 維	持台	帳	記録の有無	□有・□一	部有・□	]無	保存の	有無	□有・□-	祁有・□無		
防	階別	階	事別	項	用	途	床	面	積		険する部 の床面積		備	考
火	概			階					m²		1	n²		
対	要			階					m²		1	n²		
象 物				階					m²		1	'n		
·物				階					m²		1	'n		
概	号			階					m²		1	'n		
要	号棟)			階					m²		]	'n		
		<u>{</u>	言言	+					m²		1	n²		
備														
考														

備考

- この用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とすること。 防火管理台帳の欄は、該当する□にレ点を記入すること。 防火対象物の概要が欄に記載できない場合は、別紙に記載し添付すること。

(その2)

	点	検	項	目	I		点		糸	古	果	447	況	774	アド	拙	置	内	容
	从	19	垻	Ħ		判	定	不	備	内	容	1/\	<i>U</i> L	汉	0,	扫	旦.	ΡΊ	谷
	防り	人管理者	選任	(解信	£)		適 否												
届出	消	防計画作	1 成	(変更	₹)		適否												
	自彳	衛消防の	組織	後の設	'置														
	自	衛 消	防の	つ 組	織		 適 否												
	火	災予防上	:の自	主検	査		 適 否												
		カーリック カラ					適否												
		難施設でそ	の維																
	防維	火 上 持		<b>第</b> 造	の理														
2214		容人員					 適 否												
消	防力	火管理」	二必要	更な拳	女育		 適 否												
		大、通報及 の 他 必					 適 否												
		火活動	、通	報連誘			 適 否												
防		防機関				 適 否													
	工工	事中のは取扱	気使の影			<u>--</u> 適 否													
	防必	火 管		ン こ 関 事	ョ し 項		適												
計	自衛	活動		要要	領		適												
	消防	要員の	教育』	及び訓	  練														
	組織	業務に関	関し必	要な事	事項		<u>否</u>												
画	共	協議会の	の設置	及び道	重営														
	六同自衛消	統括管	理者	一の選	任														
	開消防組織	業務を	と行	う範	囲														
	織	運営に関し必要な事項																	
	防の			業	務		適												
	を		部 の	委範	託 囲		適												
							否												

	地震	自衛消防の組織	□ <u>適</u> □ 否
	防災対	情報等の伝達	
地震防災対策強化地域に所在する防火対象物	策強化	避 難 誘 導	□ <u>適</u> □ 否
	地域に	施設及び設備の点検	□ <u>適</u> □ 否
	所在す	及  び  整  備    応  急  対  策	□適
	る防火		□ 否 □ · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	対象物	教育及び広報	□ <u></u>
			□
	防火管理者	消火訓練及び避難訓練の実施回数 消火訓練及び避難訓練	
	理者	を実施する場合の消防機関への通報	

## 備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とすること。 2 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際、措置した内容を記入すること。
- 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

	点 検 項 目		点	検	結	ļ	果	状	況	及	てド	措	置	内	容
	· 从 · 久 · 口	判	定	不	備	内	容	1/\	ÐL	汉	0.	1日	但.	r i	台
	統括防火管理者選任		適												
届	(解任)		否												
出	全体についての消防計画作成		適												
	(変更)		否												
	占 烩 佰 日		点	、 検	結	2	果	状	ýΠ	及	アド	措	置	内	容
	点検項目		定	不	備	内	容	1/\	ÐL	汉	0.	1日	但.	r i	台
避冀	難上必要な施設		適												
及 で	び防火戸の管理		否												
17-1-	<i>у</i> нт П Ф = =		適												
防	炎物品の表示		否												

### 備考

□ 適

否

圧縮アセチレンガス等の

貯蔵又は取扱いの届出

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とすること。 2 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
- 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際、措置した内容を記入す
- 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

	点 検	項	目	法17条の2の5	法第17条の3	点	検	結		果	뀨	泗	774	アド	<del>+</del> #;	黑	ь	숬
	点 彼	垻	Ħ	第1項の適用	第1項の適用	判定	不	備	内	容	1/\	<i>①</i> L	汉	0,	措	<b>但</b> .	ΡŊ	谷
	消火器・	簡易消	火用具	_	_	□適												
	1142 ( 114	111 50 111				口否												
	屋内消	火 栓	設 備	口 有	口 有	□適												
						口否												
	スプリン	/ クラ、	一設備	□ 有 <u> </u> □		□適□												
		I =	H 111. 1sts	□ <del>点</del> □		□適												
	水噴霧	消火記	党 備 等															
	屋外消	ル te	业 借	□有	□有	□適												
	座 7 円	八任	1月	□無	□無	□否												
	動力消防	ちポン <sup>・</sup>	プ設備	□ 有	□ 有	□適												
消	227 3 114 12		15 + MIN	□ 無		口否												
们	自動火	災報気	11 設備	口有	口有	□適												
				□ 無 □ 有	無 □ 有	□否												
防	ガス漏れ	火災警	報設備	□ 用 □ 用	<u>□ □ 有</u> □ 無													
	<u> </u>					□適												
用	漏電火	災 警	報 器	_	_													
用	消防機関	へ通	報する	□有	□有	□適												
	火 災 幸	報 知	設 備	口無	□ 無	□否												
設	非 常 警	報 器	具 •			□適												
	非常質	警 報	設 備	_	_	□否												
備	\rightarrow ##		Ħ			□適												
VH	避難	器	具			口否												
	誘導灯	· 誘 j	宣 樗 識		_	□適												
等	1/1 <del>/ 1</del> / 1	H/7 ¬	7 1/T 1FM			口否												
	消防	用	水	口有	口 有	□適												
						口否												
	排 煙	設	備	□ 有 <u> </u> □	□ 有 <u></u> □ 無	□適□否												
				□有		□適												
	連結	散 水	設備															
	油 法	2字	-k #	□有	□有	□適												
	連結	送	水管	□無	□無	□否												
	非常コン	ノヤン	ト設備	□有	□有	□適												
	)   III		- HA I/III	□ 無		□否												
	無線通	信補具	力設備	口有	口有	□適												
				□ 無	□無	□否												

#### 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とすること。

- 2 法第17条第2の5第1項の適用の欄及び法第17条の3第1項の適用の欄は、規定が適用される場合は「有」の□にレ点を記入し、適用されない場合は「無」の□にレ点を記入すること。 また、市町村長が法第17条第2項の規定に基づき定めた消防用設備等の技術上の基準について、規則 第4条の2の6第9号の規定に基づき定めた場合にあっても記入すること。
- 3 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
- 4 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
- 5 設置義務のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。
- 6 水噴霧消火設備等とは、水噴霧消火設備、泡消火設備、不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備又は粉末消火設備をいう。

					必要とされる防火		点	検	結	果								
,	点 楢	東項	į	目	安全性能を有する 消防の用に供する	判	定	不	備	内 容	状	況	及	び	措	置	内	容
					設備等の概要	1.0	λL	. 1 .	ИHI	11 41								
消防用	消 令第29条の4第1項 防 の必要とされる防火安				適													
消防用設備等		能を有供する		消防の 等			否											
	点 栲	6 項	·	目	適用される		点	検 	結	果	- 张	況	ᅏ	てド	坩	置	内	灾
,	- T				消防用設備等	判	定	不	備	内 容	1/1	1/1	<i>X</i>	<u> </u>	111	<u> </u>	r J	47
消防用設備等	会 笙	<b>.</b> 3 2	条 ()	の適用			適											
設備等	13 21		<i></i>	2 延 / 11			否											
	.H: 4v	<u>√</u> - ∠			特殊消防用設		点		結	果	717	ЭΠ	774	ナル	烘	<b></b>	Н	<i>₩</i>
,	点 楢	) 項		目	備等の概要	判	定	不	備	内 容	状 況 及			()\	措	直	闪	谷
特殊消防用設備等				第3項の			適											
用設備等	特殊	特殊消防月		役備 等			否											
					適用される 消防用設備等		点	検	結	果								
ار	点	镇 項	Ī	目	又は特殊消防用 設備等	判	定	不	備	内 容	状	沈	及	び	措	置	内	容
特消	<b>=</b> p.		F.				適											
特殊消防用設備等又は	設	設置の		届出			否											
用盤備等	2/M 17	200 PL 100 PP		\ <del>\</del>			適											
等は	消防機関の検			ク 快 宜			否											

### 備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とすること。
  2 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
  3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
  4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。